

平成26年度学校評価実施報告書(全日制)

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
<p>教育実践校「学力向上進学重点」としての、本校独自の教育活動のあり方を追究・実践する</p> <p>「学力向上進学重点」としての取組の充実と時宜を得た的確な検証・振り返りを行い、進学校としてさらなる学校力の向上を図る。県民の期待に応える学校づくりをすすめる。</p>	<p>①「横高アカデミア」等の本校独自の教育活動を通して、自己探求力・知的探究心・課題解決能力を高め、生徒の第一希望への進路実現を図る。</p> <p>②学力向上に向けた本校の教育のあり方を追求するとともに、円滑な教育活動の実践をはかる。</p> <p>③生徒の幅広い学力を向上させ、進路実現を可能にする教育課程のさらなる改善に取り組む。</p>	<p>①本校独自の教育活動を通して、自己探求・学問探求の姿勢が醸成され、学びへの意欲・関心が高まり、進路実現が図られたか。</p> <p>②「学力向上進学重点」教育実践校としての教育活動が円滑に実践できたか。</p> <p>③45分と95分(45分の連続)授業を適切に組み合わせ、生徒の進路の実現をめざす教育課程をさらに改善し、その目的に応えることができたか。</p>	<p>①新入生宿泊研修は、課題の設定の仕方等工夫を加え、総合研究大学院大学の学長からも引き続き高い評価をいただいた。また、「横高アカデミア」は、より能動的なアカデミアを念頭に実施し、各講師の先生から高い評価をいただくと共に、生徒の積極性を高められた。</p> <p>②平成27年度に3学年で、「特別クラス」を設置する計画と準備に取り組めた。</p> <p>③学力向上進学重点教育実践校3年計画に基づいた平成26年度単年度計画を遂行した。</p> <p>④演習科目を中心に95分授業を設置した。</p>	<p>①新入生宿泊研修に関しては、企画自体の完成度が高まっている。計画的に準備し、円滑な実施に努めていきたい。「横高アカデミア」に関しては、内容を充実させるための新たな工夫や、履修者の増加、履修者以外の生徒への還元等をさらに充実させたい。</p> <p>②「学力向上進学重点」教育実践校として、学力向上のための取組をさらに進めていく。</p> <p>③平成27年度の3学年で、「特別クラス」設置に向けた準備が順調に進んだ。</p> <p>④学力向上進学重点教育実践校3年計画に基づいた平成26年度単年度計画をおおむね達成することができた。</p> <p>⑤実技科目を中心に95分授業が前年度より132コマから147コマと11%増加させることができた。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○学校と保護者が一体となって、子どもの成長を支援できた。今後とも十分な学習に取り組める環境を家庭でも整えていきたい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○各種テストで見られるように1学年の学力の高さが著しいのは、新しい入学者選抜が適切であったことを示している。</p> <p>○「横高アカデミア」が進路決定に大きく影響していると答えた生徒が75%以上ということはずばらしい。参加者をさらに増やす取組みをすべきである。</p> <p>○95分授業が昨年度より増加したことは、「学力向上進学重点」教育実践校として教育課程がさらに進化したことと考える。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○昨年に続き、さらに向学心の高い生徒を入学させることに成果を挙げた。この生徒たちをどのように伸ばしていくか方策を検討していく。</p> <p>○2年生3年生の学力向上のための取組をさらに進めていく。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○来年度に導入される「特別クラス」が、該当クラスだけでなく学年、学校全体に良い影響を与えられるように運営していく。</p> <p>○学力向上進学重点教育実践校3年計画の最終年度として目標に掲げた項目を確実に実現していく。</p>

<p>生徒の横須賀高校に対する帰属意識を醸成し、本校の伝統を守りさらに発展させる</p> <p>一人ひとりに応じたきめ細やかな教育支援を行い、集団生活の中で豊かな人間性や社会性を培い、健康的で活力ある学校生活の充実を図ることに、各在籍学年における高校生活満足度100%をめざす</p>	<p>①すべての教育活動を通して、横高生としての矜持を意識させ、生徒の行動規範とする。</p> <p>②部活動・学校行事を通して、集団への帰属意識を意識させるとともに、集団としてのまとまりと個を大切にする気持ちを醸成する。</p> <p>③自己判断・自己決定・自己責任の生活態度を徹底させ、自主自律の姿勢を確立させる。</p> <p>④生徒とのコミュニケーションを重視し、個々の生徒に応じた「心とからだの健康づくり」の支援を組織的に行う。専門関係者と連携した健康相談活動や学校支援活動を推進する。</p>	<p>①②学校行事、生徒会活動や部活動を活性化させ、自らの責任と役割を自覚し、横須賀高校の伝統を継承し、さらに発展させていくための在り方を考えさせたか。</p> <p>③自己判断・自己決定・自己責任の生活態度を身につけることができたか。また、社会規範への意識を高め、学校生活におけるマナーや交通ルールの遵守や学校生活におけるマナーの向上を図れたか。</p> <p>④生徒との面談や日常のコミュニケーションを大切にし、スクールカウンセラーやコーディネーターと連携し、生徒への適正な教育支援ができたか。</p>	<p>①②文化祭の実施に向け、生徒同士の連携・協力が非常によく見られ横須賀高校生の連帯感が醸成されている。陸上部とラグビー部が、関東大会で活躍し、弓道部の選手も全国選抜大会で活躍した。また、新聞部が全国総合文化祭に出場し、クイズ研究部のチームが日本テレビ主催の大会で全国大会準優勝を遂げた。</p> <p>③全校集会、学年集会、ホームルーム等さまざまな機会を捉えて規範意識を向上させるよう働きかけた。また、自転車通学の安全と交通ルールの遵守をP T Aと連携して呼びかけた。</p> <p>④夏休みを中心に担任と保護者生徒との三者面談や日常の面談がきめ細かく行われた。</p>	<p>①文化祭については、4383人（正式受付者）と前回に比べ来場者も多く、アンケート結果でも大変高い満足度が見られた。この成果を平成27年度の体育祭においてつなげて行きたい。</p> <p>②全国大会・関東大会等に参加した部活動の活躍を他の部活動の更なる活性化に生かして行きたい。</p> <p>③少数ではあるが、服装等のルールを守れない生徒や、登下校時の自転車の乗車マナーを守れない生徒がいたが、P T Aと連携した取組みで交通法規等の遵守が浸透していくなど成果が上がった。</p> <p>④夏休み中の三者面談は、エアコンが整備されたこともあり、丁寧な面談ができ大変有効であった。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○文化祭等の行事や部活動が盛んなことは、子どもたちが横高を「楽しめる学校」と思っている重要な要素である。</p> <p>○先生方が協力的でP T Aも加わって、通学時の交通ルールやマナーを遵守させるための指導を行った。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○自転車通学者のマナーも向上してきているが、さらに指導を継続してほしい。</p> <p>○部活動・行事に関して生徒アンケートからも満足感が伺える。実際、文化祭の3年生の劇を中心に大変見事な活躍である。</p> <p>○「個に応じた教育」を目標に掲げきめ細やかな学習、進路指導を行っている。生徒の自主性を高めることに真剣に取り組み、文化祭などでも運営を生徒の自主性に委ね、生徒はのびのびと役割を果たしていた。</p> <p>○部活動の参加率も高く活発であり高い成果を上げている。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○卒業生や保護者からのアンケートからも多くの生徒は、現在の学校生活に満足をしていると思われる。</p> <p>○交通安全指導をP T Aと協力して継続したい。</p> <p>○全国大会に出場した部活動を母校の誇りとし、他の部活動の活性化につなげたい。</p> <p>○母校に大いなる誇りを持たせ、規範意識をさらに醸成し、全ての生徒が自らを律することのできるようにする。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○さらにきめ細やかに面談が行えるように担任を組織的に支援していきたい。</p>
--	--	---	--	--	--	---

<p>教育実践校「学力向上進学重点」としての授業力向上に努め、第一志望への進路実現をめざす</p> <p>生徒の学力の深化と向上を図り、希望進路実現への取組を積極的に推進する。授業は教員と生徒が共同して創出するものであるとの認識にたち、授業の質の向上に取り組む。</p>	<p>①「授業力向上」の観点から「生徒による授業評価」を有効活用するために、全教職員による研究協議会などを開催する。</p> <p>②「学力向上」のために、より精度の高い試験問題の作成と検証を行う。</p> <p>③実力試験や模擬試験の結果のデータ分析を行い、その後の教科指導・進路指導に関する内容・方針決定に資する。</p> <p>④「自学自習」の姿勢の育成と「学力向上」を目指し、長期休業中や休日の講習等の各企画を組織的に計画・遂行する。また、講習の内容も生徒のニーズにあったレベルに設定する。</p> <p>⑤学校の教育指導の基準として、「横高スタンダード」の設定を全教科において検討し、複数の教科で導入する。</p> <p>⑥大学入試から逆算した、3年間を見据えた進路指導計画をより深化させ、職員の進路指導のスキルと意識の向上を図る。</p>	<p>①「研究協議会」の結果を授業改善に結びつけることができたか。</p> <p>②生徒の思考力・表現力・分析力の向上につながる試験問題が作成できたか。</p> <p>③実力試験や模擬試験の結果分析をその後の指導にいかすことができたか。生徒・保護者との情報の共有化により、有効な進路指導が実現できたか。</p> <p>④各企画は、生徒のニーズにあった内容であり、その目的を十分に果たすことができたか。</p> <p>⑤「横高スタンダード」の導入に向けて成果をあげることができたか。</p> <p>⑥3年間を見据えた進路指導計画を深化させ、職員の進路指導のスキルと意識の向上を図れたか。</p>	<p>①昨年に引き続き「論理的思考力の向上」をテーマに全教科が授業力向上の取組を行い、10月の研究授業公開、研究協議に臨んだ。</p> <p>②多くの教科で、試験問題の共通化、共同作問に取り組んでいる。</p> <p>③実力試験・模擬試験の後に生徒向けの解説と指導の集会を各学年で実施し、保護者説明会も開催した。また、模擬試験データを面談等で活用することにより情報の共有化がはかれた。</p> <p>④サマーセミナー・ウィンターセミナーの勉強合宿に、それぞれ34名、39名の生徒が参加し、「成果があがった」と好評であった。また、夏期講習においては、講習と部活動合宿とのスケジュールの調整を行ったことにより多くの生徒が参加した。</p> <p>⑤英語科では、昨年の1学年に続き2学年でも「横高スタンダード」が設定された。国語科、数学科でも学年の教科担当者が密接に連絡を取り教科指導の「スタンダード」化を進めた。</p> <p>⑥3年間を見据えた進路指導計画を深化させ、より細かな進路スケジュールを策定した。</p>	<p>①昨年と同様の共通テーマを掲げることで、研究授業の狙いを、より明確にすることができた。論理的思考力を向上させるための方策をさらに追及したい。</p> <p>②試験問題の共通化や共同作問が定着し、より精度の高い問題作成が推進できた。</p> <p>③3年間にわたる詳細な進路指導計画のもとに模擬試験の分析会・保護者説明会等を設置することで、より有効なものとなるようにする。</p> <p>④サマーセミナー・ウィンターセミナー・土曜講習・夏期講習は好評であった。大学別の講座を設置するなど受講生徒のニーズに合った講座をより多く設定し、さらに多くの生徒の参加を促したい。</p> <p>⑤複数の教科で論述課題や定期試験での記述型設問の設定が進んできた。</p> <p>⑤英語科の取組みが、国語科、数学科へと拡大しさらに多くの教科の取組みとなるよう取組みを進めている。</p> <p>⑥3年間を見通した進路指導計画を常に検証し改善をしていくとともに、全職員が進路指導計画に基づいて指導に取り組めるような体制作りが必要である。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○3年間の長期計画の下に入学期に高かった学力を維持しながら、志望校の高い目標を下げない指導がデータからも伺える。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○論理的思考力の向上のための試験問題の精度を上げることに引き続き努めてほしい。</p> <p>○休業中の講座の開催や時間外の補習にも多くの時間を割き、多数の参加者を得ている。</p> <p>○3年間にわたる詳細な進路指導計画の設定・実施配置は適切である。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○「授業力向上」の取組みに一定の成果を上げることができた。</p> <p>○「横高スタンダード」の策定は、英語科を中心に結果として表れ、大きな前進となった。</p> <p>○3年間を見通した進路指導計画の策定は、本校の進路指導が大きく前進した表れである。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○全職員の授業力向上の取組を粘り強く推進し、試験問題の共通化の成果として質の高い作問作りを継続して取り組む。</p> <p>○勉強合宿や講習に対する満足度をさらに高める方策を検討する。</p> <p>○「横高スタンダード」の設定の取組をさらに多くの教科に拡大する。</p> <p>○3年間を見通した進路指導計画を常に検証し改善をしていく。また、生徒の自宅学習時間の問題については、自宅学習の確保のために部活動との関係を検討したい。</p>
---	---	--	--	---	--	--

<p>〈自己探求〉をすすめる、〈自己実現〉を図る</p> <p>探究的な学びを重視したキャリア教育を推進し、真摯な学びへの姿勢と、将来を見通した学びへの姿勢を醸成する。</p>	<p>①本校独自の教育システム「横高アカデミア」〈自己探求〉をすすめるプログラムを、さらに検証し、充実したものにする。</p> <p>②総合的な学習の時間や「社会見学」等、他の学校教育計画との連携も視野に入れ、システムの定着と教育的相乗効果を図る。</p>	<p>①「横高アカデミア」3講座、新入生宿泊研修（2泊3日）等、〈自己探求〉をすすめるプログラムの充実のために、さまざまな工夫を加え、効果的な教育活動となったか。</p> <p>①②他の学校教育計画との連携も視野に入れ、システムの定着と教育的相乗効果を図ることができたか。</p>	<p>①「横高アカデミア」「新入生宿泊研修」等本校独自の教育活動を円滑に進めると共に、キャリア教育との関連性の検証、最終レポート（プログレッシブレポート）の冊子化等新しい試みも実践した。</p> <p>①②豪州との姉妹校交流正式締結、「総合的な学習の時間」での国際理解教育プログラム等を実践、幅広い〈自己探求〉を進めた。</p> <p>②同窓会とPTAと連携して、実社会で活躍している50代の報道関係者と30代の6名の会社員を招き、講演会・懇談会「横高仕事ナビ」を開催し、大学生と在校生約100人を対象にキャリアプランニングを支援した。</p>	<p>①平成26年度における各プログラムの反省に基づき、さらに精度の高いものを目指す。</p> <p>②平成27年度の豪州姉妹校の本校訪問を通しての充実した国際交流、「総合的な学習の時間」と「アカデミア」との更なる連携等、システムの融合・発展を目指す。</p> <p>②「横高仕事ナビ」に参加した在校生も「将来のキャリアプランに大いに役立った」と大好評で、次年度に向けて参加者をさらに増やす取組みを進めている。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○「自分の努力に後悔はしない。努力をしなければ後悔をしたと思う。」と卒業生が述べたが、横須賀高校は「努力ができる場」であった。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○自己探求がさらに高い「知」の領域にまで進んでいくために改善を望みたい。</p> <p>○偉大な諸先輩方を「仕事ナビ」でお呼びして生徒のキャリア教育に活用したことはすばらしい。</p> <p>○生徒の潜在能力を引き出すための様々な努力を行っているが、本校独自の「横高アカデミア」は、工夫を加えながら年々充実を続け定着を見ていることを評価する。「新入生宿泊研修」も生徒の高い評価を得ており、共に更なる充実を望みたい。</p> <p>○「横高アカデミア」や「新入生宿泊研修」等により自己探求ができていると思う。また、しっかりとした家庭の力も大きい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○「横高アカデミア」の取組が、生徒に学びに対する動機付けやキャリアプランニングの大きな契機となった。</p> <p>○「横高アカデミア」と他教科との連携を今後も強化していきたい。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○「横高アカデミア」や国際交流、「仕事ナビ」等をさらに充実させる。</p>
--	--	--	--	---	--	--

<p>地域を代表する伝統校である本校に対する県民の教育ニーズに応える学校づくりを行う</p> <p>保護者や中学校・地域などに本校の教育活動を積極的に情報発信し、双方向の連携・協力を活発にし、信頼される学校づくりをめざす。</p>	<p>①学校の活性を図るための地域の要望の集約・分析に積極的に取り組み、地域から信頼され、県民のニーズに的確に応える学校づくりを推進する。</p> <p>②学校の特色や様々な教育活動の実践を地域に発信するために、中学生と保護者ならびに中学校教育関係者を対象とした高品質の学校説明会や体験授業などを実践するとともに、常に誠意と熱意をもって対応するように尽力する。</p>	<p>①中学校教員等との情報交換の場や、県民のニーズを掌握する場を設定し、学校づくりの推進に役立てることができたか。</p> <p>②HPの内容充実と迅速な更新、学校案内・スクールガイドなどの改良など、広報活動を効果的に推進できたか。</p> <p>①②学校説明会、体験授業、体験部活動、学校へ行く週間など一連の広報活動をより機能的に実施することで、参加者の人数増と満足度向上を図れたか。</p> <p>②2回の学校説明会で約1500名の参加者、また体験授業・部活動で340名の参加者があった。アンケートも概ね「満足」の結果を得ることができた。</p> <p>②ぎんなん祭りでのダンス部発表、老人ホームでの吹奏楽部ミニコンサート、ラグビー部の春光学園訪問など部活動単位での地域連携の活動を行った。また、本校セミナーホールでの公郷町老人会のイベント実施など地域との協力を積極的に行った。</p>	<p>①複数の総括総括教諭や教諭が積極的に約30の中学校を訪問し本校の学習活動や10月の体験授業・部活動などの説明を行った。また、中学校からの意見や要望の収集に努めた。</p> <p>②HPについては前任者からの引継ぎが充分でなく年度当初においては速やかな情報提供ができなかったところが反省点である。スクールガイドは県費で負担することができず廃止したが、その分、在校生の声を集めたプリントを作成し中学生にさまざまな場で配布した。</p> <p>②2回の学校説明会で約1500名の参加者、また体験授業・部活動で340名の参加者があった。アンケートも概ね「満足」の結果を得ることができた。</p> <p>②ぎんなん祭りでのダンス部発表、老人ホームでの吹奏楽部ミニコンサート、ラグビー部の春光学園訪問など部活動単位での地域連携の活動を行った。また、本校セミナーホールでの公郷町老人会のイベント実施など地域との協力を積極的に行った。</p>	<p>①中学校訪問については、本校の教育方針を説明し、中学校側の意見を聞く上から今後も積極的に取り組んでゆく必要がある。また、学校へ行く週間などの広報活動の更なる充実も目指す。</p> <p>②1年生の母校訪問を今後も継続して行うとともに、本校で努力している在校生の声が中学生により一層伝わるような広報活動を引き続き行う。</p> <p>①②学校説明会での印象が受検生の志望動機に直結する傾向が見られた。本年は、400名を超える志願者が横須賀高校を受検した。今後も本校の特色を中学生によりわかりやすく説明する広報活動を目指す。</p> <p>②各種の地域の取組に参加することは、教育的価値の高いことでもあり、地域の中の横須賀高校という意識で今後もできる限り地域との連携に取り組んで生きたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○生徒は横須賀高校を「生徒が楽しめる学校」と捉えている。学校行事や部活動が充実していることが大きい。先生方が頑張ってくれて、PTA活動にも協力的である。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○部活動を中心に地域の小学校、中学校、福祉施設や自治会との地域連携ができています。</p> <p>○新入生のレベルが高いのは、学校説明会・体験授業等適切な情報の提供・広報活動が効果を上げている証左である。</p> <p>○横三地区以外からも向学心の高い生徒が、横高を志望するように情報発信に努めてほしい。</p> <p>○文化祭等の学校行事に多数の地域の方々が参観されており、これは学校と地域の連携・協力の成果である。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○学校説明会は延べ1500名を超える中学生・保護者が参加してくれた。体験授業等でも適切な情報の提供・広報活動が実施でき、よりレベルの高い生徒の志願につながっている。</p> <p>○充実した学校行事が、地域の方々に高く評価されている。(改善方策等)</p> <p>○中学校訪問を引き続ききめ細やかにを行い、情報収集と本校からの説明の場をさらに充実させていきたい。</p> <p>○ホームページの内容がさらに保護者・県民にとって親しみの持てるものとなるように改善を進める。</p> <p>○学校説明会をさらに丁寧開催し、地域や他地域の中学校にも本校の特色を説明するために訪問する。</p>
---	--	--	--	---	--	--

<p>学校運営の効率的改善と安全で安心な教育環境の整備に努める</p> <p>学校運営の改善に向けた取組を一層推進するとともに、安全対策を強化し、信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>①生徒の学習環境の整備に向け、保護者、同窓会、地域支援者等の学校関係者との連携を推進する。</p> <p>②災害対策の整備と充実に努め、生徒・職員の防災への意識を高める取り組みを行う。</p> <p>③進学重点校である本校の特色にあった選考基準の策定に努める。</p> <p>④事故のない入学者選抜ならびに円滑な選抜業務の遂行に努める。</p> <p>⑤各グループの業務内容の精査及び各グループ間における連携の強化により、円滑な校務運営と同時に校務の効率化をすすめる。</p>	<p>①生徒の学習環境を向上させる取組が実施され、効果があがったか。</p> <p>②起こりうる災害を想定した防災マニュアルを作成し、職員・生徒の防災教育への理解を深めることができたか。</p> <p>③本校の特色にあった選考基準が策定されたか。</p> <p>④入学者選抜の実施にあたって、適切で円滑な選抜業務が実施できたか。</p> <p>②学校運営グループの業務内容の精査と連携が図れたか。その結果、効率的な業務運営が実現し、教職員の生徒に関わる時間が確保できたか。</p>	<p>①教室の加湿器設置、床の修繕、A棟トイレの改修など、全校をあげて生徒の学習環境の整備に努めた。</p> <p>②地震だけでなく、風水害や土砂災害等を想定した防災マニュアルの改訂を続け、職員への周知を徹底した。防災訓練もさらに充実した形で実施することができた。</p> <p>③さまざまな角度から入学者選抜の選考基準を検討し、平成27年度入学者選抜については、従来のものと変更を行わなかった。</p> <p>④円滑な入学者選抜業務が実施できた。</p> <p>⑤グループの担当業務の再編整備が行われ、合理的な体制に改善されたが、業務量が各グループとも多く、生徒とのふれあいの時間が増加したとはいえない。</p>	<p>①教室の加湿器設置、床の修繕、A棟トイレの改修など、短期間の工事日程で完了できるよう全校をあげて対応し、生徒の学習環境を向上させることができた。</p> <p>②継続した課題として、県の管轄にある県立高校と横須賀市に属する近隣の小中学校や町内会との援助物資の調達・配布や連携協力体制などに課題が残った。</p> <p>③他の「学力向上進学重点」教育実践校の選考基準も参考にしながら本校の特色にあった選考基準の検討を継続する。</p> <p>④今年度の入学者選抜業務を再検証し、次年度に向けて事故のない円滑な業務の遂行にさらに努める。</p> <p>⑤年度末まで一層の業務精選化のため、教育の本質に立ち返った大胆な発想による抜本的見直しを検討したが、まだ十分とは言えない。次年度以降もさらに検討を加えていきたい。</p>	<p>(保護者)</p> <p>○生徒の学習環境を改善する整備が進んでいくことに感謝したい。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○災害対策には、万全の上にも万全を期すように努力されたい。また、地域の防災拠点となりうる地形上の位置にあることから、県と市の防災担当部局や地域と積極的に相談して連携協力体制を構築されることを望む。</p> <p>○横須賀高校にふさわしい選考基準の検討を継続してほしい。</p>	<p>(学校評価)</p> <p>○昨年の自習室や教室のエアコンの整備に続き、A棟トイレの改修等、恵まれた学習環境が整いつつある。</p> <p>○実際の災害を想定した本格的なマニュアルが策定できた。</p> <p>(改善方策等)</p> <p>○生徒の学習環境の向上をさらに進められるように取り組む。</p> <p>○業務の精選と分担の検証をさらに続け、合理的な体制を常に目指す。</p> <p>○実際の災害を想定してマニュアルの改訂を続けたい。</p> <p>○本校に相応しい選考基準を検討していく。</p>
---	---	--	---	--	---	--